



広い世界に光あれ

2025年 6月 24日

一生懸命はかっこいい！



新年度が始まったと思ったのも束の間、本当に早いもので1学期も残すところ一か月足らずとなりました。5月31日の運動会には朝早くから保護者や地域の皆様にご来校いただき、盛大に開催することができました。



子どもたち一人ひとりが一生懸命がんばる姿、友達と協力して競技や演技、応援、係活動をする姿を見ていただくことができました。運営につきましても PTA 役員の皆様

をはじめ保護者の皆様のご協力により、スムーズに進行や撤収作業ができました。

子どもたちには運動会で学んだことを、日常の学校生活でも生かしてくれると期待しています。



「非認知能力」の向上にむけて

畝傍北小学校では今、学力向上の基礎となる「非認知能力」(目標達成に向け見通しを持って、自分の感情をコントロールする力や粘り強さ、自分を客観視する力)に注目しています。非認知能力の向上に向けて、学校では「当たり前」の事を「当たり前」できるように指導しています。

6月の全校朝会では次のような話をしました。

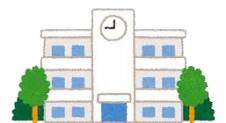
畝傍北小学校の皆さんは、一番、あいさうの声が大きくて元気だと思っています。はっきり「おはようございます!」「きょうなら!」と言える人が多く素晴らしいことだと思っています。毎日出会う人であっても、あいさつは「当たり前」のことです。当たり前を当たり前、続けてほしいと思います。

あいさつで声を出すと元気が出ます。スポーツの世界でも苦しい時間帯に声をかけあって、声を出して、元気を出して、最後までがんばることが出来ます。しんどくなっているチームメイトに「がんばれ!」「一緒にがんばろう!」と声をかけたり、逆に自分がしんどい時にはげましの言葉をかけてもらうことで、最後までやり切ることができた、そんな経験はないでしょうか?

これは、先月に皆さんにお話しした「言葉」と同じです。はげましの言葉をかけてもらって、自分ががんばることができたり、まわりの人に勇気と元気を与えることができます。「いい言葉」が持っている力です。

畝傍北小学校のみんな、大きな声であいさつしたり、いい言葉をかけあったりすることを当たり前にしていきましょう。

今回は「最後まで粘り強く、がんばれる力をつける」というねらいで、上記のような話をしました。自分一人ではどうしようもないことやつらいことも、友達やなかまの支えを受けて、最後までがんばって解決することができた、という経験の積み重ねが自分の力となり、心身の成長につながっていきます。



本校では以前から心のつどいや命輝き集会等で劇を発表したり、平和の歌を発表したりしてきました。これらの取組も「非認知能力」の向上につながっていたと思います。みんなで支えあい、気遣いあいながら、最後まで完成に向けて努力することが、子どもたち自身や学校全体を成長させることにつながってきたと言えるでしょう。

今後も「非認知能力」をキーワードに保護者・地域の皆様に、本校の考えや取組を紹介したいと思います。

第一回 学校運営協議会より～「学校支援ボランティア」を募集します。

6月12日(木)の学習参観日に合わせて、第一回 畝傍北小 学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会は、地域の皆さんに本校の学校運営に参画していただき、校区の子どもたちのための豊かな教育環境づくりや、安心して生き生きと教育活動ができるようにするために組織されています。学校運営協議会を設置している学校を「コミュニティ・スクール」(地域とともにある学校)といい、畝傍北小学校のみならず、檀原市内15小学校、6中学校すべてがコミュニティ・スクールとして今年度からスタートしました。

これまでもすでに、畝北校区で活動されている団体の皆様と、登下校の見守り活動や読み聞かせ活動、授業支援等を実践していただいているところですが、今後、学校運営協議会に地域のいろいろな立場の方に参画していただき、それぞれの立場から「熟議」を通して、今後の学校運営の方向性を見出していきたいと考えています。

一回目の会議では、委員の方から「学校として地域や保護者の皆さんに力を貸してほしいと思われるようなことを教えてほしい」というご意見をいただきました。学校としては「家庭科のミシンを使った実習や調理実習の際のサポート」や、環境整備として「運動場の草刈りや植栽の選定」等、要望を出させていただきました。

最終的には、以前コロナ前まで学校から募集の呼びかけをしていた「学校支援ボランティア」の募集を復活し、地域や保護者の皆様の様々な知識や技術を教育活動のサポートに活かしていただくことになりました。

※ 「学校支援ボランティアについては「コドモン」ではなく、募集用紙をお子さんを通じて、後日配布いたします。ご賛同いただける方はご記入の上、担任を通じて学校にご提出ください。

まずは知りましょう！

今の学校のこと、子どもたちのこと、保護者のこと、教職員のこと、地域との関係語り合しましょう！

この学校がどのような姿であって欲しいのか？

学校で、家庭で、地域で子どもたちのめざす姿とは？

奈良県コミュニティ・スクールアドバイザー、奈良市立富雄中学校学校運営協議会等で活動されている新谷明美さんの言葉から

今後、熟議を通して取組の成果と課題を明らかにし、より良い学校運営協議会の活動にしていきたいと思えます。

★ 2025年6月12日現在の畝傍北小学校 学校運営協議会委員として参画していただいている団体は、以下の皆さまです。

- ・ 畝傍北小学校PTA(会長・顧問・人権教育部長)
- ・ 畝傍北小学校区人権教育推進協議会 会長
- ・ 畝傍北小学校区地域福祉推進委員会 代表
- ・ 畝傍地区民生児童委員協議会 会長
- ・ 畝傍北小学校区主任児童委員
- ・ 読み聞かせ活動 代表者
- ・ 地域見守り隊 代表者
- ・ 地域未来塾(「子ども広場」等) 代表者
- ・ 大久保コミュニティセンター 代表者
- ・ 学習支援ボランティア 代表者

